



浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム 令和6年度第2回会議

令和7年3月26日（水） 15:45-16:45

Digital Smart City HAMAMATSU



次 第

- 1 開会**
- 2 共同幹事挨拶**
- 3 会員の状況**
- 4 R6セミナー及びワークショップの報告**
- 5 浜松版MaaS構想第2期について**
- 6 コンソーシアムの来年度取組予定**
- 7 会員のモビリティ関連のプロジェクトについて**
- 8 意見交換**
- 9 閉会**

2 共同幹事挨拶



- 浜松市 デジタル・スマートシティ推進部長 水谷 供子
- 遠州鉄道(株) 取締役経営企画部長 岡野 裕貴
- スズキ(株) 常務役員次世代モビリティサービス本部長 熊瀧 潤也



3 会員の状況

- ・ 一般会員：142団体（令和7年3月10日時点）。
- ・ R6第1回会議（令和6年6月19日）時点から、一般会員16団体が新規会員に。

No.	法人名
1	株式会社CLUE
2	ナブテスコ株式会社
3	株式会社総合自動車学校
4	パーソルテンプスタッフ株式会社
5	DroneEikyuRise合同会社
6	株式会社コア
7	株式会社静岡新聞社・静岡放送株式会社
8	中部精機株式会社

No.	法人名
9	株式会社スクラムクリエイション
10	AquaAge株式会社
11	株式会社エクセディ
12	株式会社ステージ・ループ
13	新明工業株式会社
14	浜松ドローンサービス
15	日本生命保険相互会社浜松支社
16	合同会社ポリシーデザイン

※入会順

4 R6セミナー及びワークショップの報告

今年度モビコンの目標

6



【各取組の狙い】

セミナー開催

天竜川水系「ドローン航路」の取組を発信することで、**地域内外の注目を集め**、地域課題の解決や新たなビジネス創出のきっかけをつくる。

ワークショップ

- ・異業種連携を通じた**ドローン航路活用**の具体化
- ・コンソーシアム会員間の情報共有・**連携の強化**

メンタリング

ワークショップで出たアイデアをプロトタイプ作成まで進めるために、**アイデアの深掘りや方向性の明確化、マッチング支援**を行う。

ドローン航路を活用したユースケース創出

セミナー概要

7

Digital Smart City
HAMAMATSU

デジタル全総のアーリーハーベストPJに選定されている、天竜川水系のドローン航路に関して**情報発信**することによって注目を集め、**熱意が波及するきっかけ**となった。



総申込人数 : 152名
会場参加 : 46名
オンライン参加 : 106名



参加無料

主催：浜松市、浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム

モビリティサービス推進コンソーシアムセミナー

～ドローン航路を活用したサービス創出に向けて～

2024
10月23日 水
15:00～16:30

場所
ササシティ浜松
中央館 B1F FUSE
または
オンライン開催
※会場参加は先着50名まで

DRONE FUND 株式会社
大前 創希 氏

アラセ・アイザワ・アエロスパシアル
合同会社 鈴木 健一 氏

株式会社トラジェクトリー
小関 賢次 氏

HMK Nexus 株式会社
内田 貴啓 氏

基調講演：2050年ドローン・エアモビリティ前提の社会と浜松市の立ち位置

講演：エンジンドローンを用いた未来の可能性

講演：空のデジタルインフラとして、ドローン航路とは

講演：次世代物流ネットワークへの挑戦

パネルディスカッション：浜松市の今後の展望について

• DRONE FUND（株） 共同創業者/代表パートナー 大前創希氏

• アラセ・アイザワ・アエロスパシアル（同）COO 鈴木健一氏

• （株）トラジェクトリー 代表取締役社長 小関賢次氏

• HMK Nexus（株） 代表取締役社長 内田貴啓氏

• パネリスト：大前創希氏、鈴木健一氏、小関賢次氏、内田貴啓氏
• ファシリテーター：東博暢氏（浜松市フェロー）

ワークショップ実施概要

8

Digital Smart City
HAMAMATSU

主催：浜松市、浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム

～ドローン航路を活用したサービス創出に向けて～

ドローン×モビリティ ワークショップ

2024
11/21 木
13:30～17:00

会場
浜松市
地域情報センター

参加
無料

詳細・申込は
こちらから



1. 事業名 令和6年度 浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム ワークショップ
2. テーマ 「ドローン航路を活用したサービス創出に向けて」
3. 日時 2024年11月21日(木)13:30-17:00
4. 実施形式 対面（浜松市 地域情報センター）
5. 参加者数 29人
6. 参加費 無料

当日プログラム

9

時間	内容	
13:30～13:34	挨拶	浜松市デジタル・スマートシティ推進部長 水谷供子氏
13:34～13:35	ガイダンス	・目的の共有 ・ワークショップの流れ等説明
13:35～13:45	インプット1	「空のデジタルインフラとして整備する、浜松市天竜川水系のドローン航路」 株式会社トラジェクトリー代表取締役社長 小関 賢次氏
13:45～14:50	第1部WS	・アイスブレイク ・ドローン航路周辺の情報案内 ・サービスユーザーの検討
14:50～15:00	休憩	
15:00～15:45	第2部WS	・サービスのテーマ決め ・発表するサービスを具体化 ・発表資料の作成
15:45～16:20	発表 講評	各班発表 講評：浜松市フェロー 東 博暢 氏
16:20～16:30	総評	共同幹事 (遠州鉄道株式会社、スズキ株式会社、浜松市)
16:30～17:00	ネットワーキング	

ワークショップ資料

10

ワークショップ 第1部

アイス
ブレイク

みなさんの技術、知識、担当を知りましょう！

STEP 1

ドローン航路周辺の特徴を知りましょう！

STEP 2

サービスユーザーを決めましょう！
・理想の姿を想像しながら

ワークショップ 第2部

STEP 3

サービスユーザーの現状から、班のテーマを決めましょう！

STEP 4

創造したサービスにより、どうなりますか？

（ 深堀

プロモーションやマネタイズ方法について
※時間があれば

ワークショップ 第2部

STEP 2 : サービスユーザー



個人 (toC)、事業者 (toB) 幅広に

STEP 3

サービスユーザーを1つ選ぶ

サービスユーザーの現状
どんな暮らし・ビジネスをしている？

STEP 4

サービスユーザーの理想の姿
(どんな姿がハッピー!?)

HAPPY

サービスユーザーの現状
どんな暮らし・ビジネスをしている？

理想の姿と現状を
埋めるサービス

サービスユーザー
に提供するサービス

ワークショップの状況

11



浜松市フェロー 東博暢氏

課題解決の鍵として、通信の問題などに対しアップデートされた環境を整えることが求められる。

天竜川を重要な拠点とし、川沿いから地域を発展させる視点は、歴史的に見ても江戸時代からの地域の流れを汲むものであり、見方を柔軟に変え、新しい価値を創造することで、「とったもん勝ち」の精神で行えるとさらに勢いが増すと感じる。

遠州鉄道株式会社 経営企画部
磯部隆一 次長

自然を満喫できる一方で、人が少ないという特性からドローンの活用にも適した環境である。こうした地域で様々な取り組みを試行し、社会実装を実現していくことが求められる。

今年度から遠州鉄道も地域共創推進室を設置しており、地域と連携した新たな可能性を模索してく。

スズキ株式会社 次世代モビリティサービス事業
藤谷旬生 部長

スズキはドローンスカイドライブや国産ドローンに出資し、スクール運営を通じて浜松に産業集積の基盤を築きたい。

投資を抑えつつ運用コストを上回る価値を生み出すマネタイズモデルを探求しており、過疎地の利点を活かして地域とドローン産業の双方に大きな可能性を感じた。

浜松市 デジタル・スマートシティ推進課
米村仁志 課長

印象的だったのは、それぞれが個性的な提案をいただき、市としては、その種を育て、地域内外のネットワークを広げることを目指したい。

既に他地域で確立されたドローン航路を活用し、周りの方々にも広くPRしていただくことで、さらなる発展につながれると期待している。

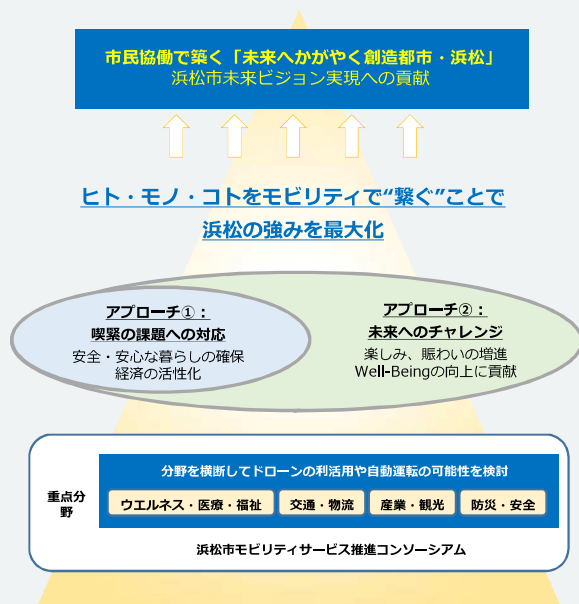
5 浜松版MaaS構想第2期について

背景

- わが国では、都市部における道路渋滞、地方における交通サービスや移動サービスの縮小、さらにはドライバー不足の発生など、交通サービスに様々な問題が生じています。一方で、オンデマンド配車システムや自動運転等の交通サービスに関する新たな技術が進展するなど、これらの問題が解決する可能性のある取り組みの検討が進みつつあります。
- 広大な市域を持ち、国土縮図型都市である本市も、人口減少・少子高齢化を背景とした様々な課題に直面しています。市民の移動手段の確保、生活サービス（買物や医療等）の維持などは大きな課題であり、各種サービスとモビリティの連携による持続可能なまちづくりが求められています。
- まちづくりにおいては利便性だけでなく、暮らしやすさと幸福感を実感できるように、地域全体のWell-Beingを官民で高めていくことが必要です。
- また、近年は自然災害の激甚化・頻発化が進んでおり、南海トラフ地震の懸念も大きくなっている中、災害への対応も求められています。各種サービスにおいては、平時だけでなく、災害時の使用方法も検討し、迅速な対応が取れるよう備えておくことが重要です。

構想推進の考え方

喫緊の課題への対応（アプローチ①）と、未来へのチャレンジ（アプローチ②）を組合せて取り組みながら浜松市の強みを最大化していきます。



活かすべき本市の強み

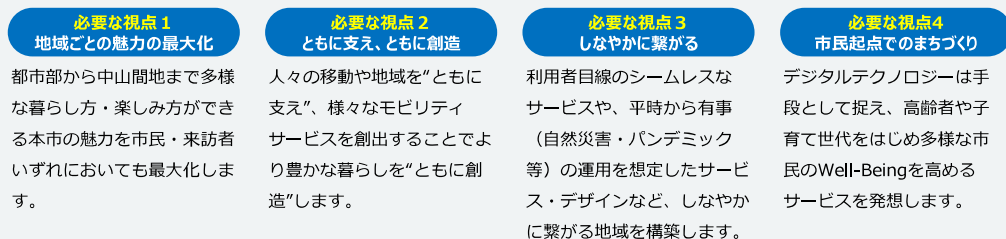
- 多様な暮らし方や楽しみ方を可能にする環境（国土縮図型都市／交通至便）
- やらまいか精神や共助の心を持った企業と市民が共存
- ものづくり力（世界的な輸送用機器メーカーや楽器メーカー等の集積／スタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市）
- 多様な文化背景を持つ市民が共に暮らす多文化共生都市
- 音楽のまちづくり（ユネスコ創造都市ネットワーク加盟）
- 多様な地形が育む多彩な食
- 全国トップクラスの健康寿命

目指す方向性（基本理念）

ヒト・モノ・コトをモビリティで“繋ぐ”と浜松の暮らしはもっと輝く

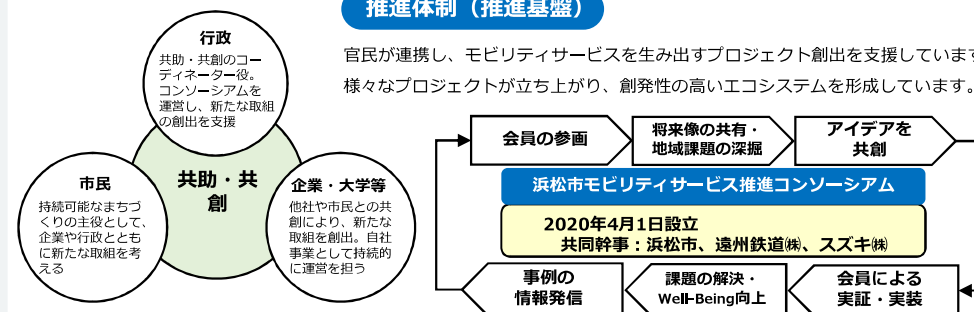
人口減少・少子高齢化で限られた資源（ヒト・モノ・コト）をモビリティで繋ぎ、持続可能な都市を目指します。

さらに、ヒトの移動にとどまらない価値を創出し、浜松での暮らしをより豊かにし、来訪者にとっての魅力も高めていきます。



推進体制（推進基盤）

官民が連携し、モビリティサービスを生み出すプロジェクト創出を支援しています。様々なプロジェクトが立ち上がり、創造性の高いエコシステムを形成しています。



背景

- わが国では、都市部における道路渋滞、地方における交通サービスや移動サービスの縮小、さらにはドライバー不足の発生など、交通サービスに様々な問題が生じています。一方で、オンデマンド配車システムや自動運転等の交通サービスに関する新たな技術が進展するなど、これらの問題が解決する可能性のある取り組みの検討が進みつつあります。
- 広大な市域を持ち、国土縮図型都市である本市も、人口減少・少子高齢化を背景とした様々な課題に直面しています。市民の移動手段の確保、生活サービス（買物や医療等）の維持などは大きな課題であり、各種サービスとモビリティの連携による持続可能なまちづくりが求められています。
- まちづくりにおいては利便性だけでなく、暮らしやすさと幸福感を実感できるように、地域全体のWell-Beingを官民で高めていくことが必要です。
- また、近年は自然災害の激甚化・頻発化が進んでおり、南海トラフ地震の懸念も大きくなっている中、災害への対応も求められています。各種サービスにおいては、平時だけでなく、災害時の使用方法も検討し、迅速な対応が取れるよう備えておくことが重要です。

活かすべき本市の強み

- 多様な暮らし方や楽しみ方を可能にする環境（国土縮図型都市／交通至便）
- やらまいか精神や共助の心を持った企業と市民が共存
- ものづくり力（世界的な輸送用機器メーカーや楽器メーカー等の集積／スタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市）
- 多様な文化背景を持つ市民が共に暮らす多文化共生都市
- 音楽のまちづくり（ユネスコ創造都市ネットワーク加盟）
- 多様な地形が育む多彩な食
- 全国トップクラスの健康寿命



目指す方向性（基本理念）

ヒト・モノ・コトをモビリティで“繋ぐ”と浜松の暮らしはもっと輝く

人口減少・少子高齢化で限られた資源（ヒト・モノ・コト）をモビリティで繋ぎ、持続可能な都市を目指します。
さらに、ヒトの移動にとどまらない価値を創出し、浜松での暮らしをより豊かにし、来訪者にとっての魅力も高めていきます。

必要な視点1： 地域ごとの魅力の最大化

都市部から中山間地まで
多様な暮らし方・楽しみ
方ができる本市の魅力を
市民・来訪者いずれにお
いても最大化します。

必要な視点2： ともに支え、ともに創造

人々の移動や地域を“と
もに支え”、様々なモビ
リティサービスを創出す
ることにより豊かな暮ら
しを“ともに創造”します。

必要な視点3： しなやかに繋がる

利用者目線のシームレス
なサービスや、平時から
有事（自然災害・パンデ
ミック等）の運用を想定
したサービス・デザイン
など、しなやかに繋がる
地域を構築します。

必要な視点4： 市民起点でのまちづくり

デジタルテクノロジーは手
段として捉え、高齢者や子
育て世代をはじめ多様な市
民のWell-Beingを高める
サービスを発想します。

構想推進の考え方

喫緊の課題への対応（アプローチ①）と、未来へのチャレンジ（アプローチ②）を組合せて取り組みながら浜松市の強みを最大化していきます。

市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」
浜松市未来ビジョン実現への貢献



ヒト・モノ・コトをモビリティで“繋ぐ”ことで浜松の強みを最大化

アプローチ①：喫緊の課題への対応

安全・安心な暮らしの確保
経済の活性化

アプローチ②：未来へのチャレンジ

楽しみ、賑わいの増進
Well-Beingの向上に貢献

重点分野

分野を横断してドローンの利活用や自動運転の可能性を検討

ウェルネス・医療・福祉

交通・物流

産業・観光

防災・安全

浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム

浜松版MaaS構想

考えられるサービスのイメージ

アプローチ① 喫緊の課題への対応

安全・安心な暮らしの確保 経済の活性化

移動販売や配送の地域内連携



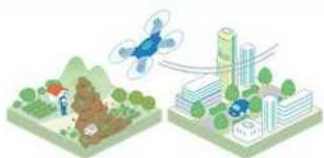
医療サービスとモビリティの連携



様々な交通手段の連携による移動効率化



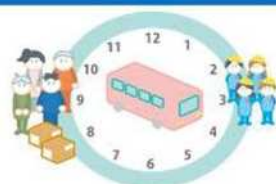
有事を見据えたサービス・デザイン



誰もが使いやすい移動環境の整備



サービスの組み合わせによるモビリティ資産の稼働率向上



共助型地域交通の促進



移動や人流データの収集・活用



観光や食資源との連携



アプローチ② 未来へのチャレンジ

楽しみ、賑わいの増進 Well-Beingの向上に貢献

上空や水上を含めた交通・物流網の構築



次世代モビリティの産業集積



自動運転車や自動運転支援道の活用



次世代パーソナル・モビリティの開発普及



交通利用に関わる省エネルギー化



モビリティを用いたエンターテインメント提供



6 コンソーシアムの来年度取組予定

21

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
モビリティサービス 推進コンソーシアム	●コンソーシアム会議／ ドローン部会会議											
	●ドローンセミナー											
	●ドローンワークショップ											
	●自動運転セミナー											
	●ドローンサミット											
●ドローンコンテンツの拡充（ホームページ）												
●JapanDrone出展												
コンソーシアム会議／ ドローン部会会議 ●												
ユースケースづくり支援												

令和7年度の取組予定

22

Digital Smart City
HAMAMATSU



Japan Drone／次世代エアモビリティEXPOは
新たな産業創出と国際競争力の強化に貢献する展示会です。

7 会員のモビリティ関連のプロジェクト

デジタルライフライン全国総合整備計画 アーリーハーベストPJ

浜松市天竜川水系 河川航路ユースケース

trajectory
trajectory

2025.03.25



ドローン航路整備
ドローン航路運営サービス



ドローン航路を利用した
河川巡視・点検の研究



ドローン航路を利用した
ドローン配送サービス



ドローン航路開通式（2025年3月25日）

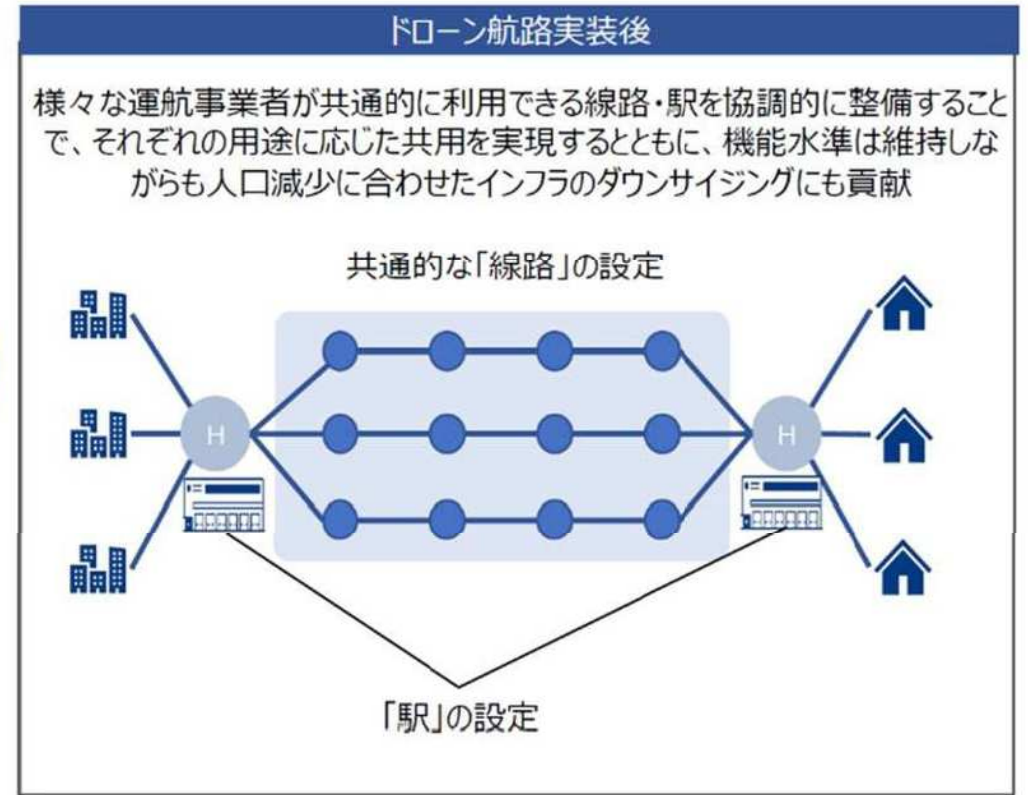
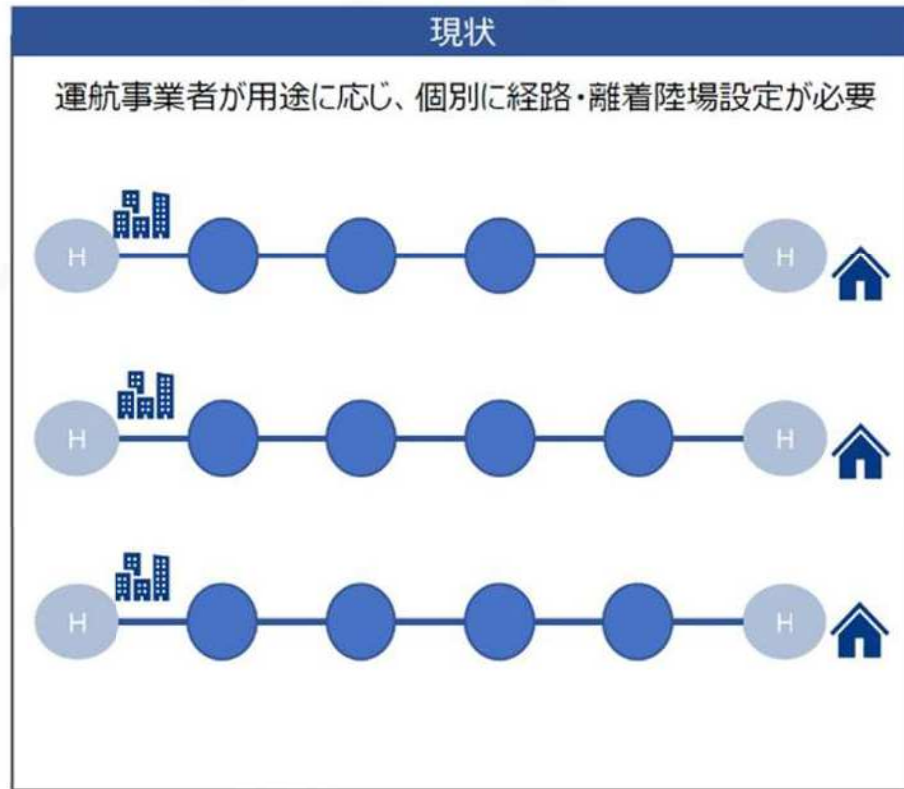


←浜松会場

秩父会場→



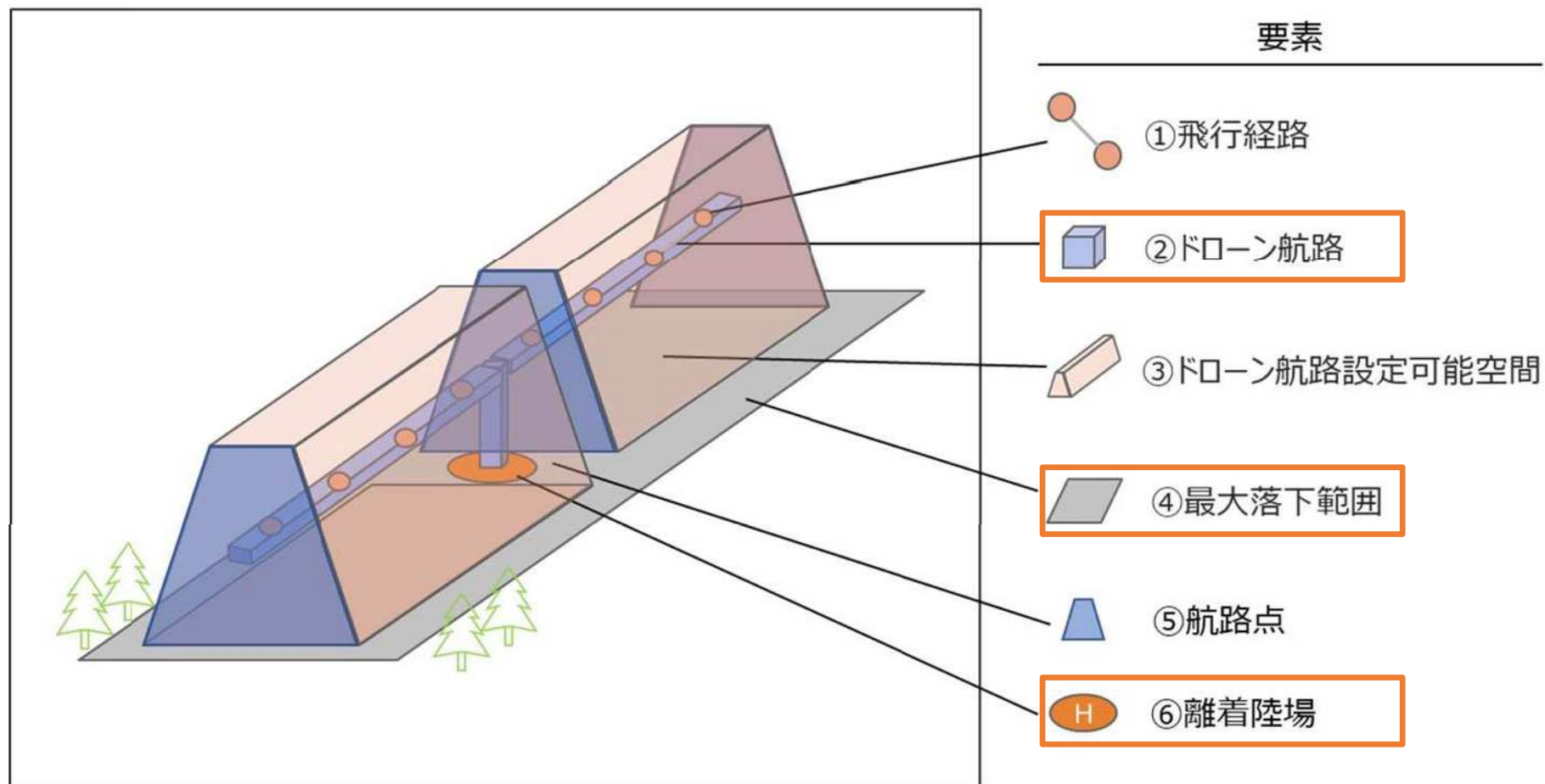
ドローン航路とはドローン運航事業者が共同で利用可能な空間



ドローン航路 ConOps（運用概念）より

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/digital_architecture/siryou3dronekouroconopsunnyougainenan.pdf

ドローン航路の定義

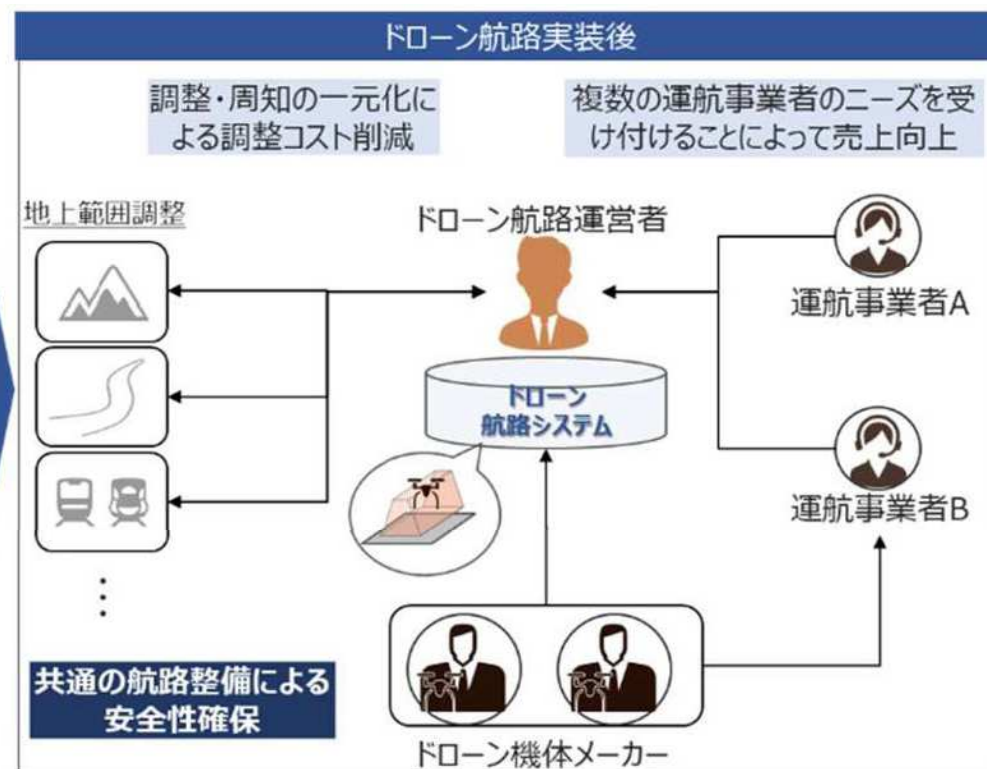
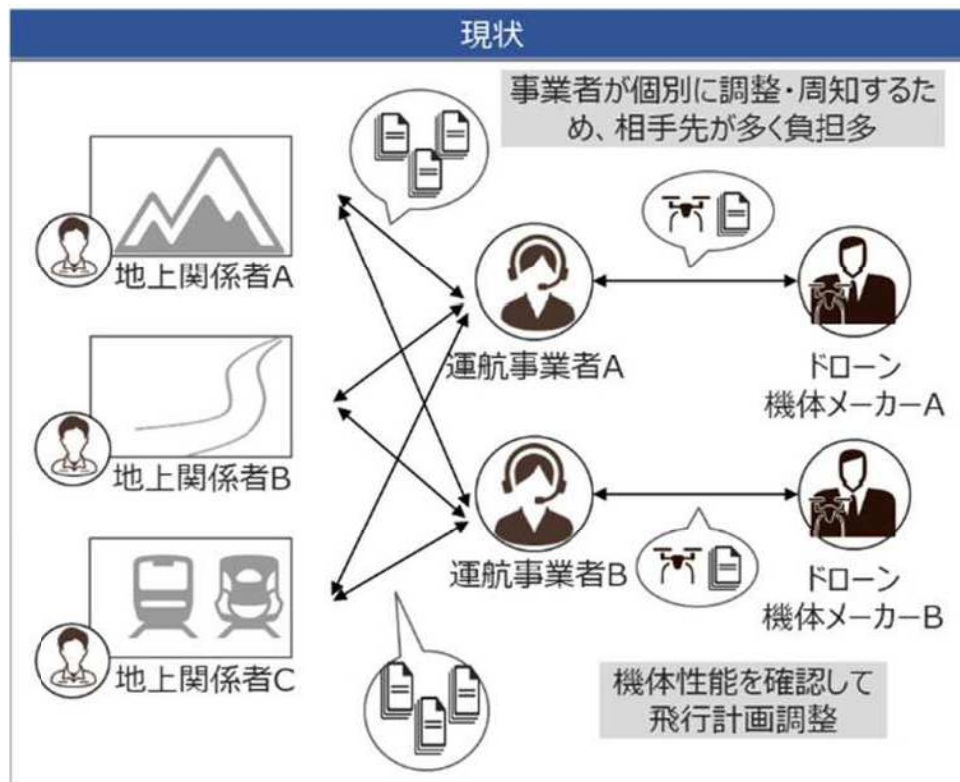


ドローン航路 ConOps (運用概念) より

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/digital_architecture/siryou3dronekouroconopsunnyougainenan.pdf



ドローン航路運営者の役割

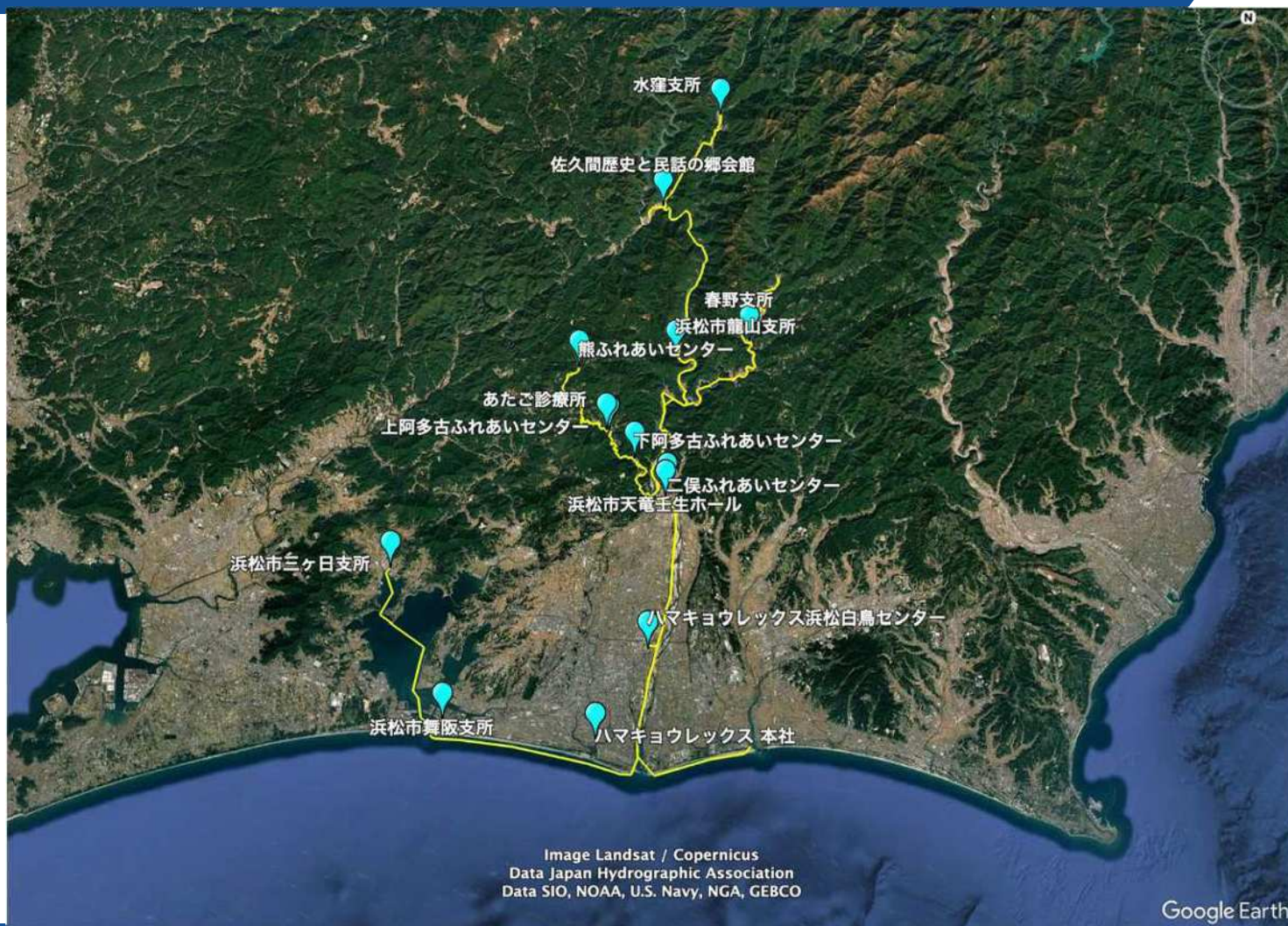


ドローン航路 ConOps（運用概念）より

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/digital_architecture/siryou3dronekouroconopsunnyougainenan.pdf

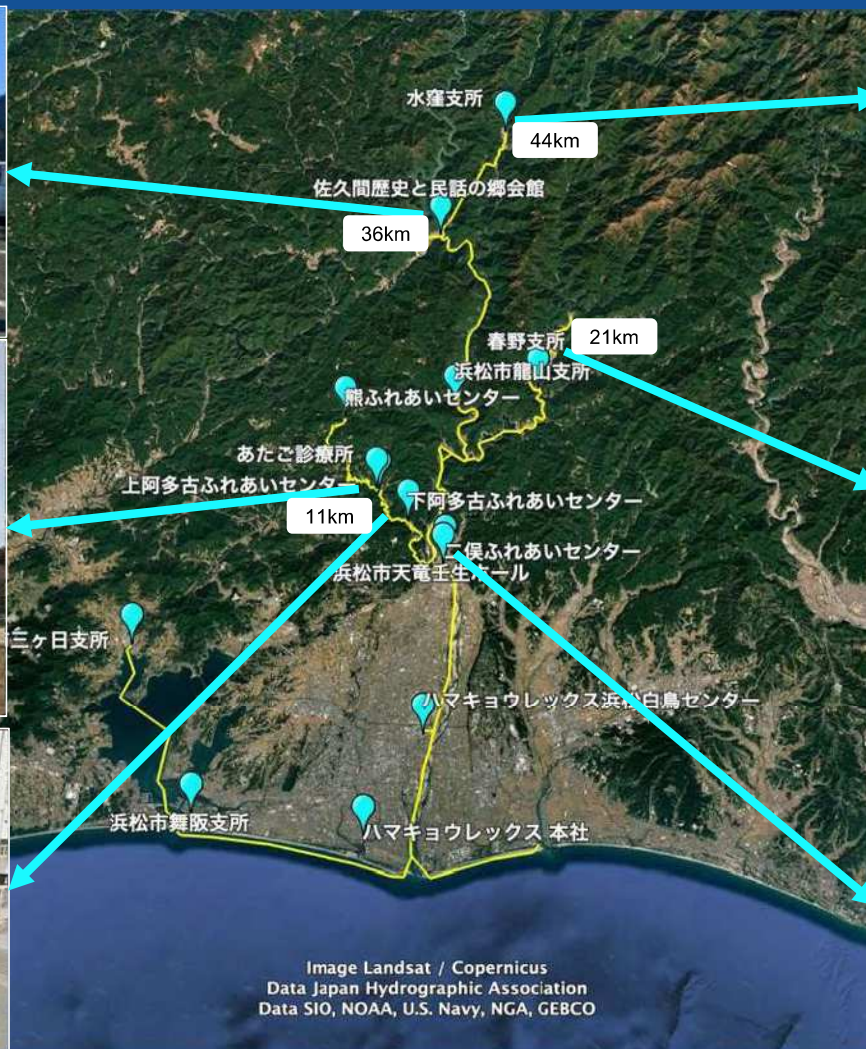


浜松市天竜川水系 河川航路の整備範囲



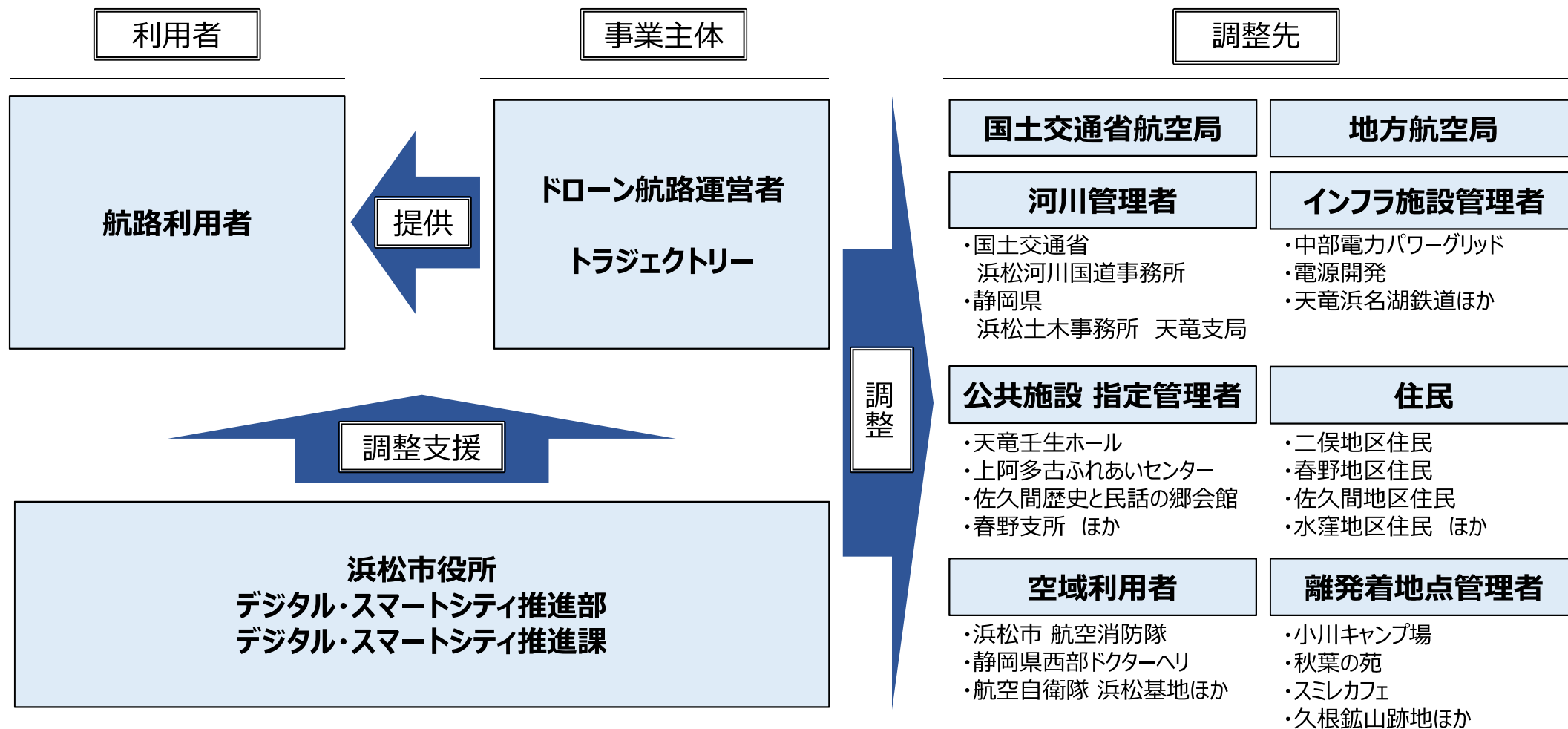


浜松市天竜川水系 河川航路の離発着場



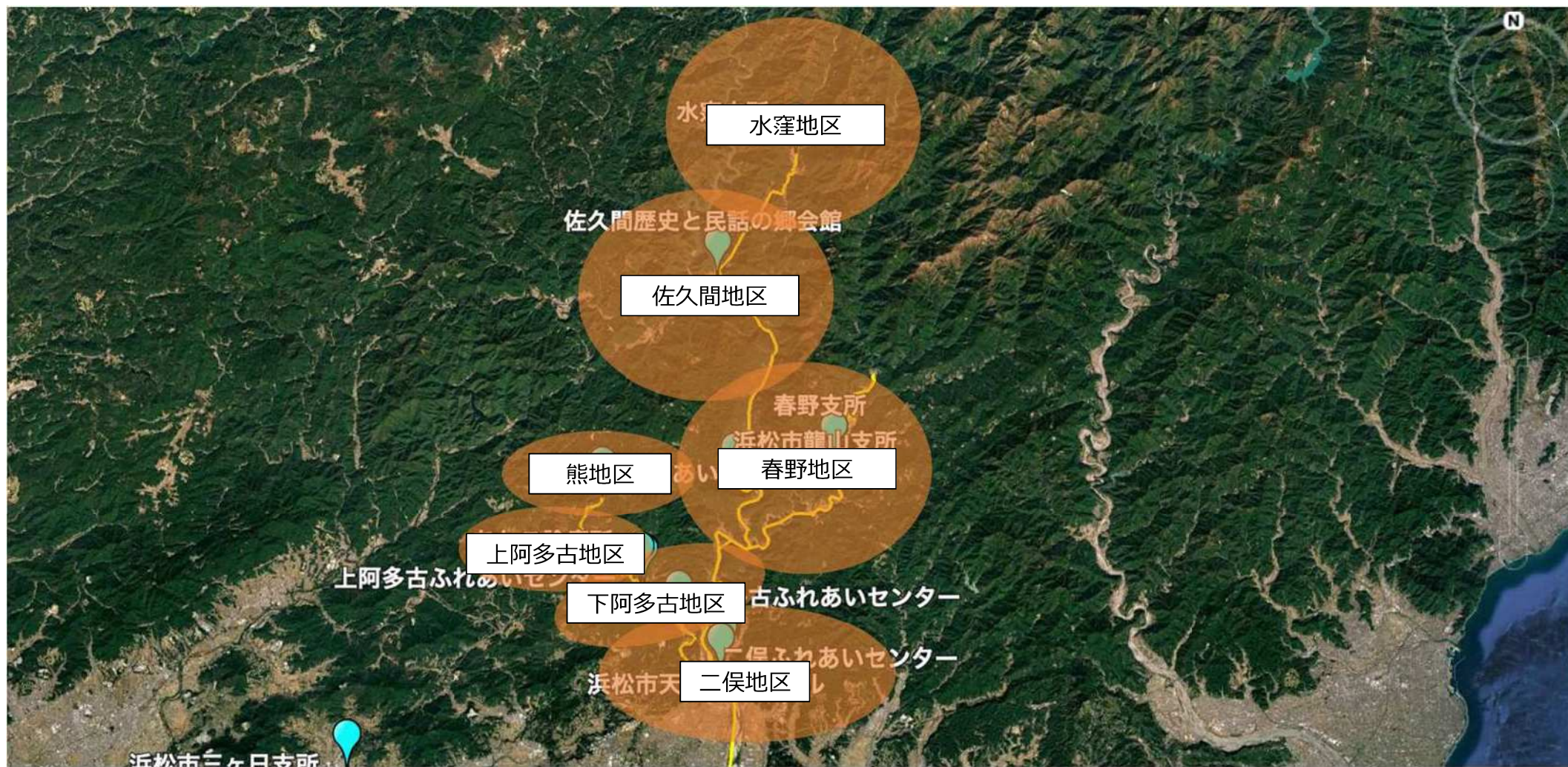


浜松市天竜川水系 河川航路の関係者



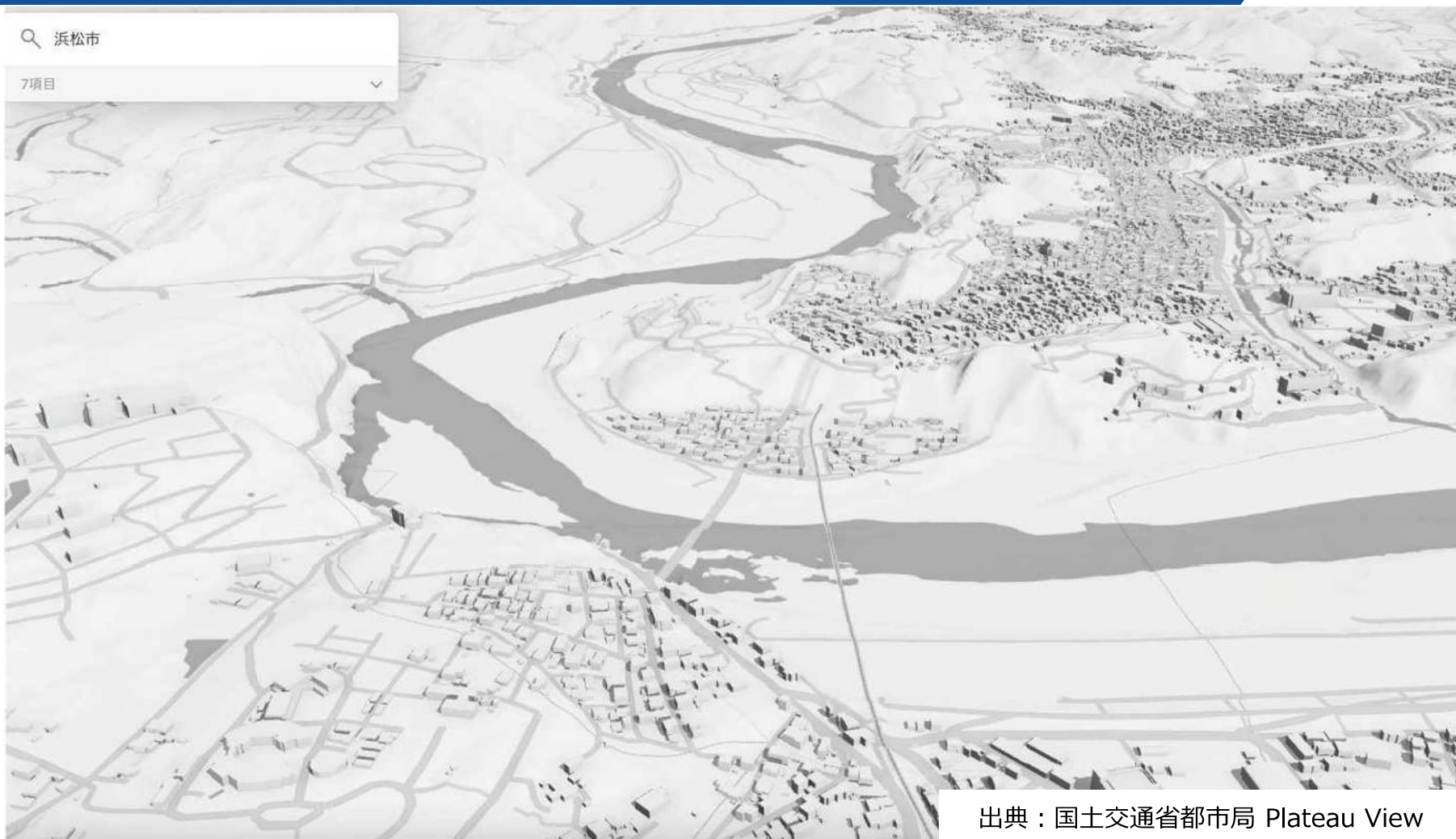


浜松市天竜川水系 河川航路の住民説明





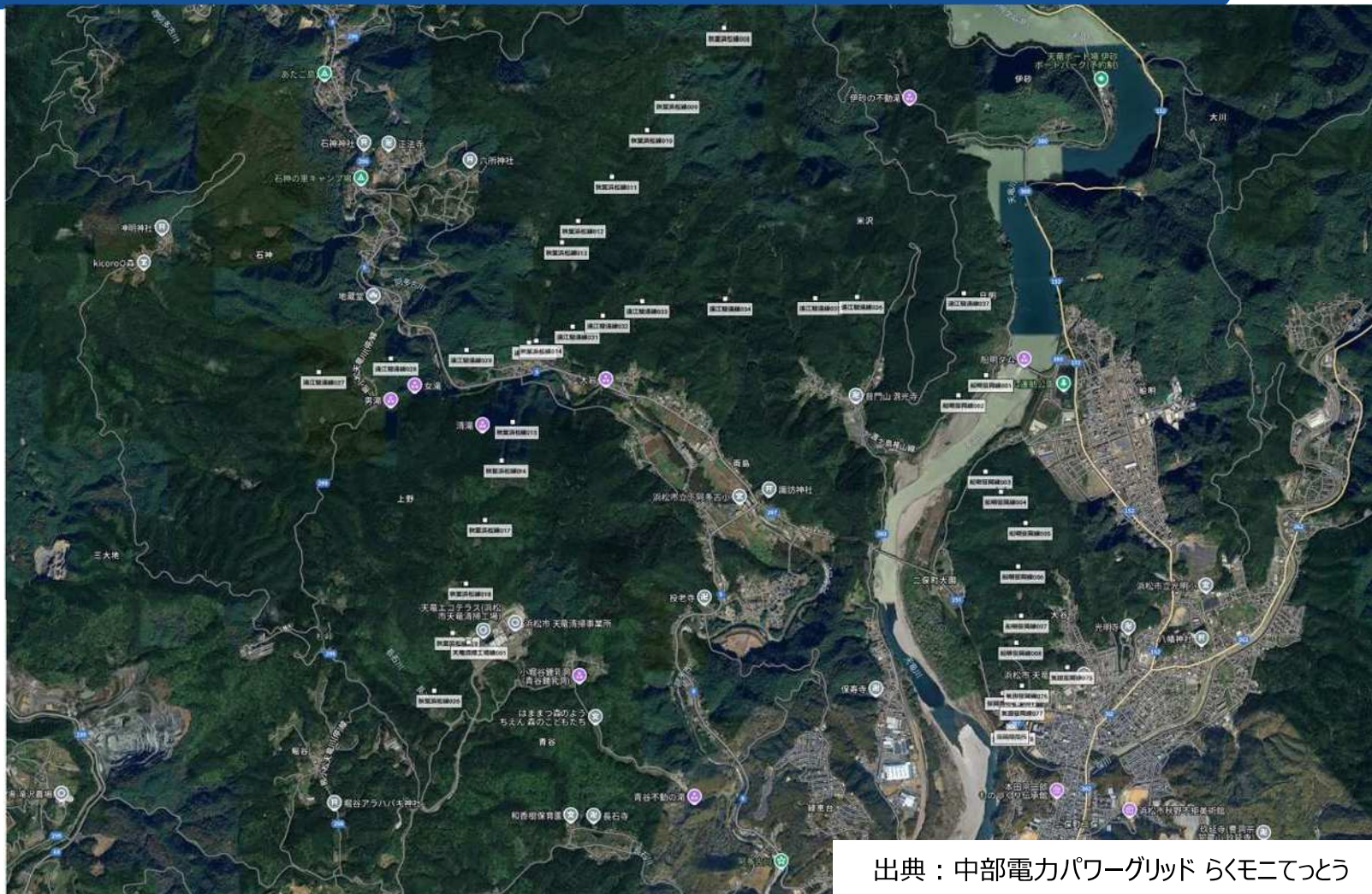
浜松市天竜川水系 河川航路の空間情報（国土交通省Plateau）



出典：国土交通省都市局 Plateau View



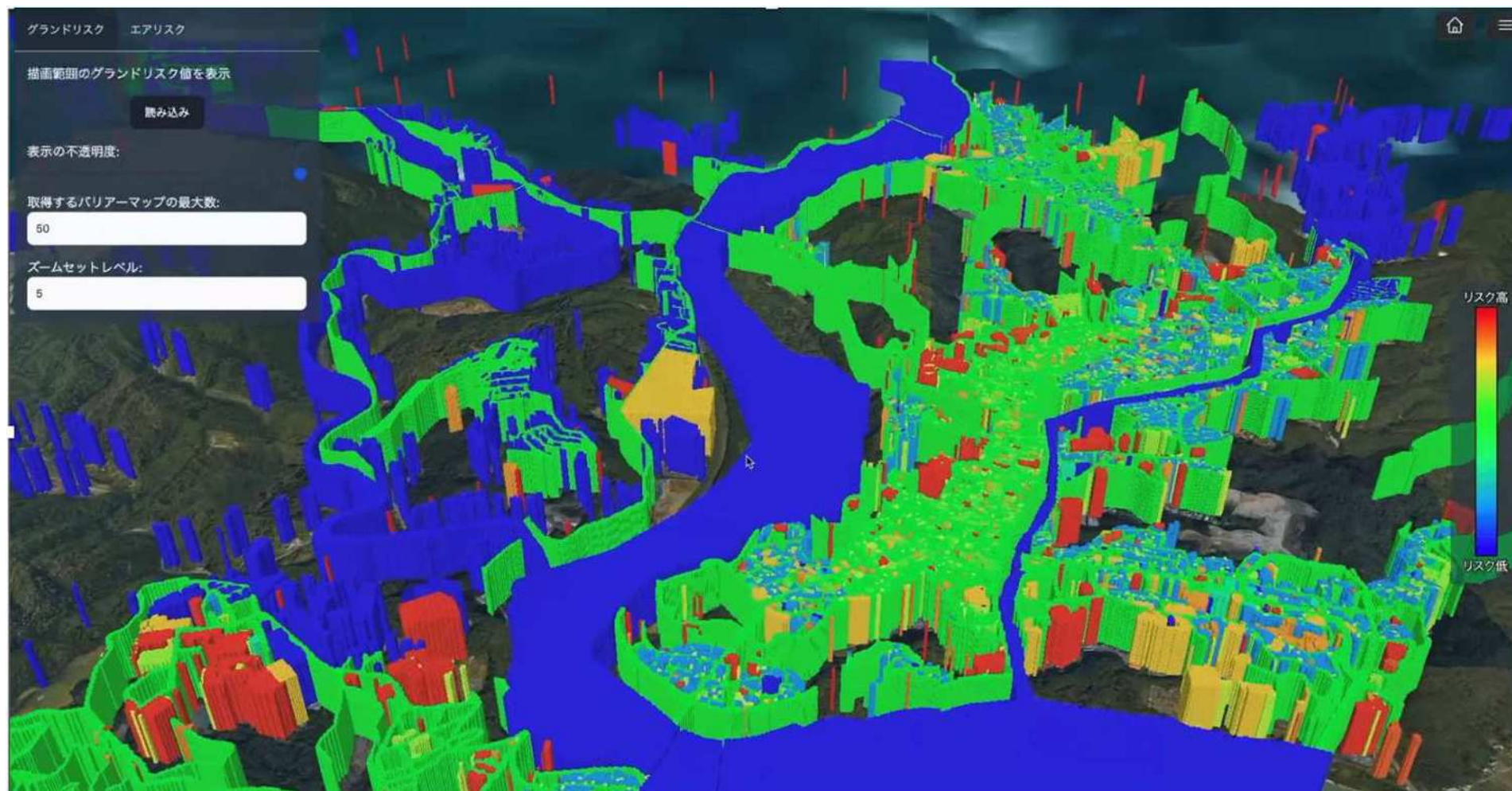
浜松市天竜川水系 河川航路の空間情報 (中部電力PG らくモニでっとう)



出典：中部電力パワーグリッド らくモニでっとう

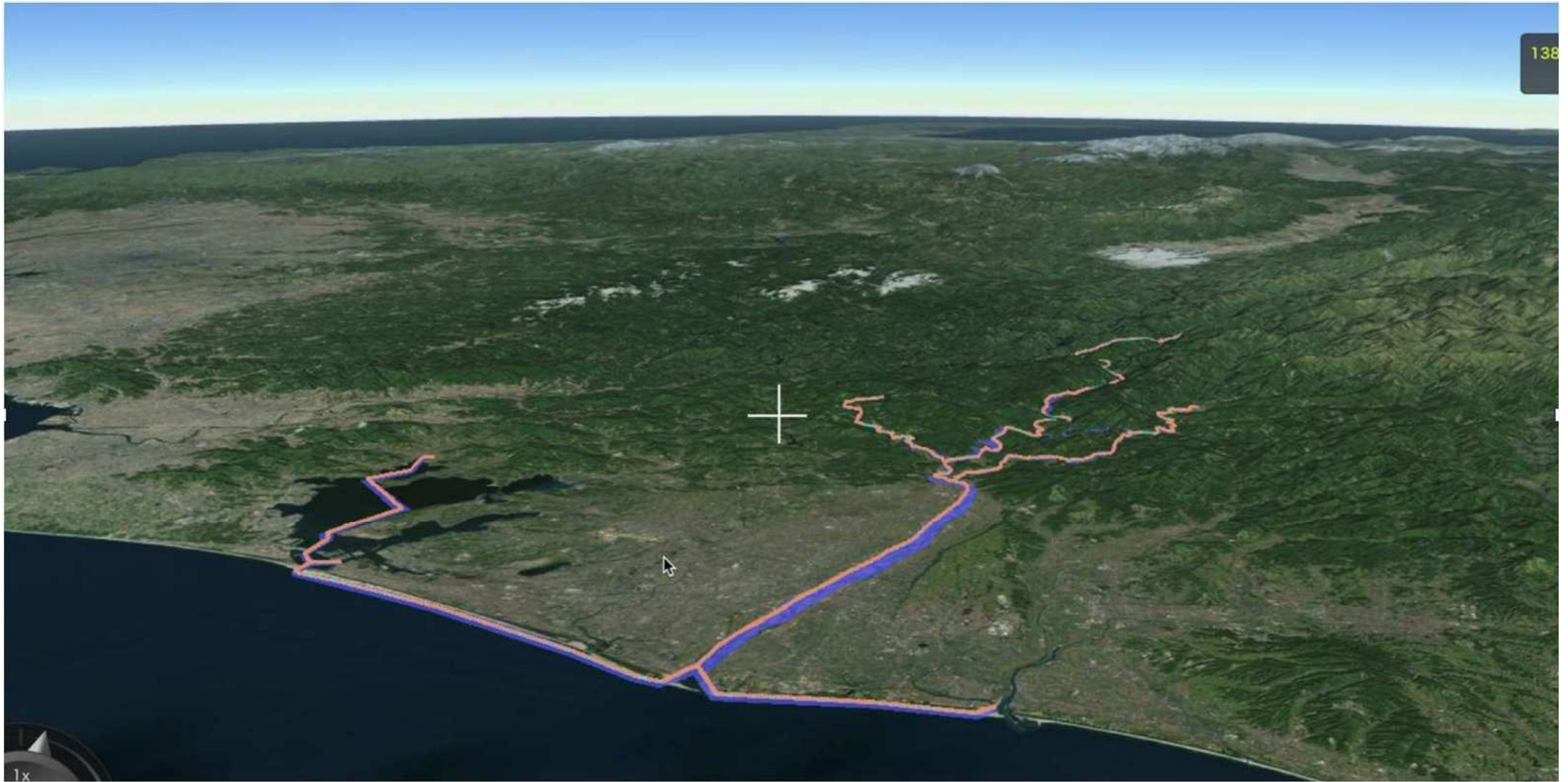


浜松市天竜川水系 河川航路のグラウンドリスク評価



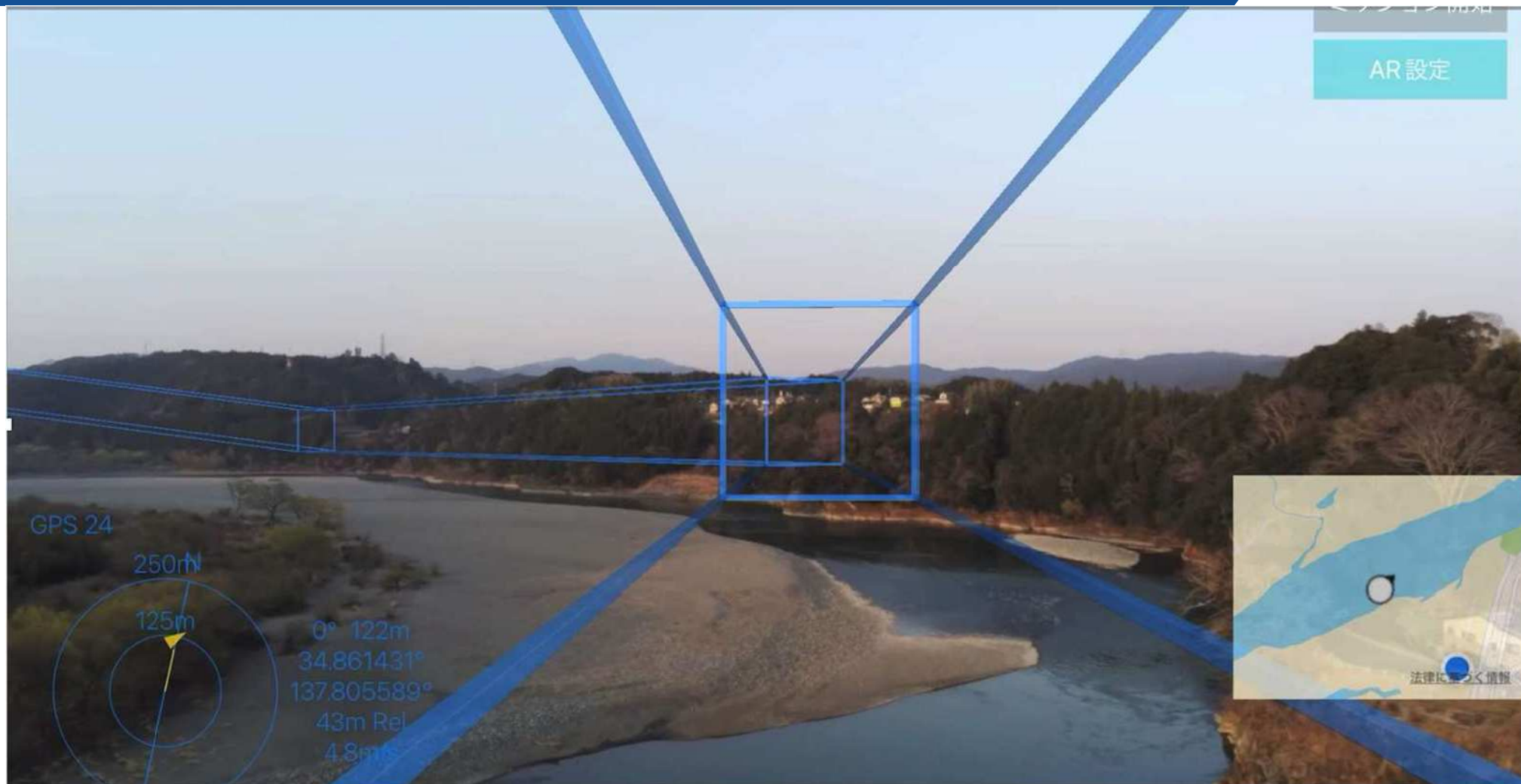


浜松市天竜川水系 飛行ルートを設定





浜松市天竜川水系 河川航路のフライトチェック





浜松市天竜川水系 河川航路のUTMサービス利用





運航情報



【運航情報】静岡県浜松市内でのドローン自動飛行（2025年3月）

お知らせ

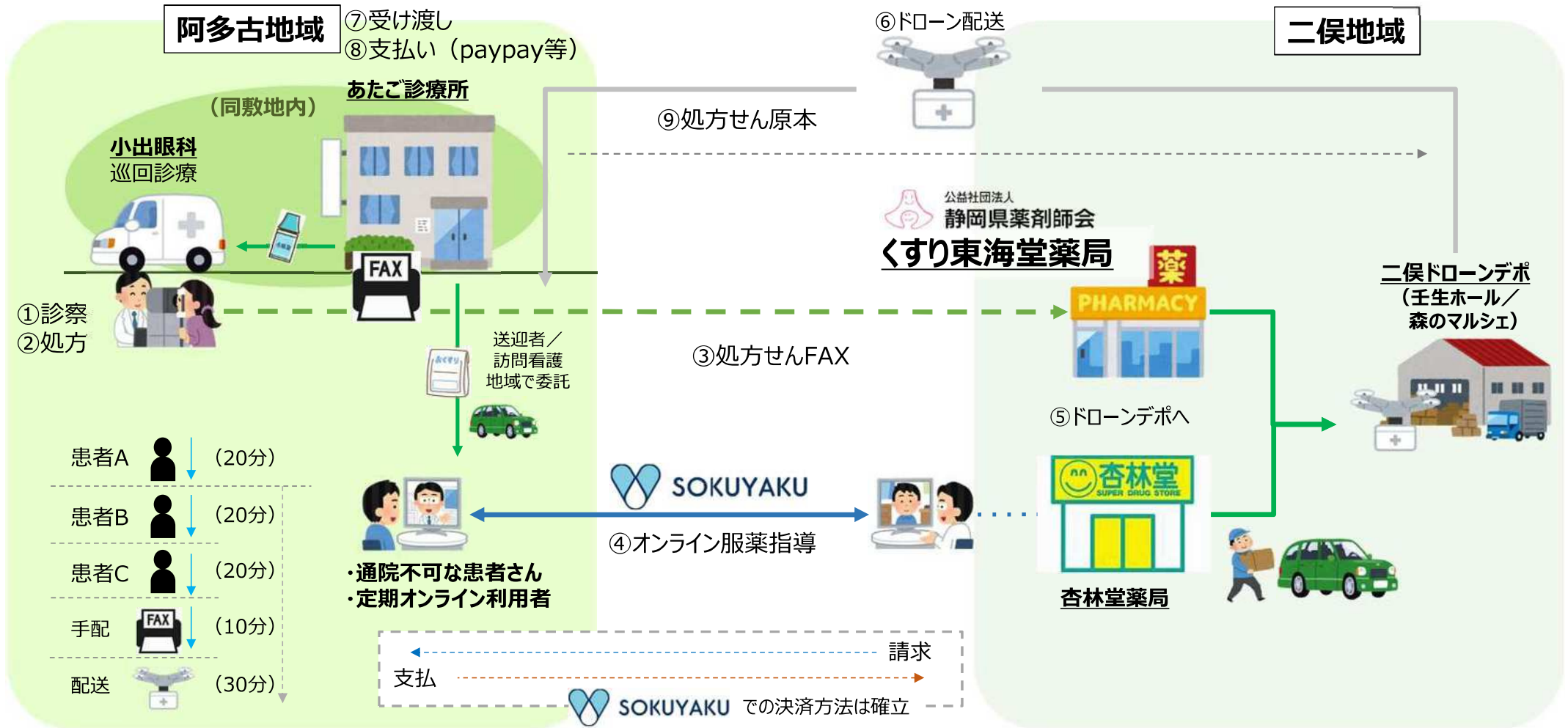
運航情報

2025/03/21

1 運航計画（3月1日～3月31日）

日付	時間
3月5日（水）	13:00～14:00
3月6日（木）	10:00～12:00
3月11日（火）	10:00～12:00
3月12日（水）	15:00～16:00
3月13日（木）	15:00～16:00
3月14日（金）	13:00～15:00
3月17日（月）	13:00～15:00
3月18日（火）	14:30～16:00
3月21日（金）	13:00～15:00
3月25日（火）	14:00～15:00

天竜区におけるドローン医薬品配送モデル



天竜区におけるドローン医薬品配送モデル

服薬指導

小出
眼科



SOKUYAKU



公益社団法人
静岡県薬剤師会
くすり東海堂薬局

診療所でオンライン服薬指導



患者様は診療後、その場で薬局の薬剤師から服薬指導が受けられる。
また、オンライン服薬指導は看護師の付き添いの下行われる為、負担なく安心して受けることができる。

薬局からの処方薬のお届け



薬剤師が離発着場まで配達
(患者様は診療所にいられる)



薬局では、遠方の医療機関への処方薬の販売がしやすくなると共に、災害時の医薬品の販売にも貢献できる。
将来的には、在庫のある他店からの即薬等の可能性も考えられる。

処方薬受け取り



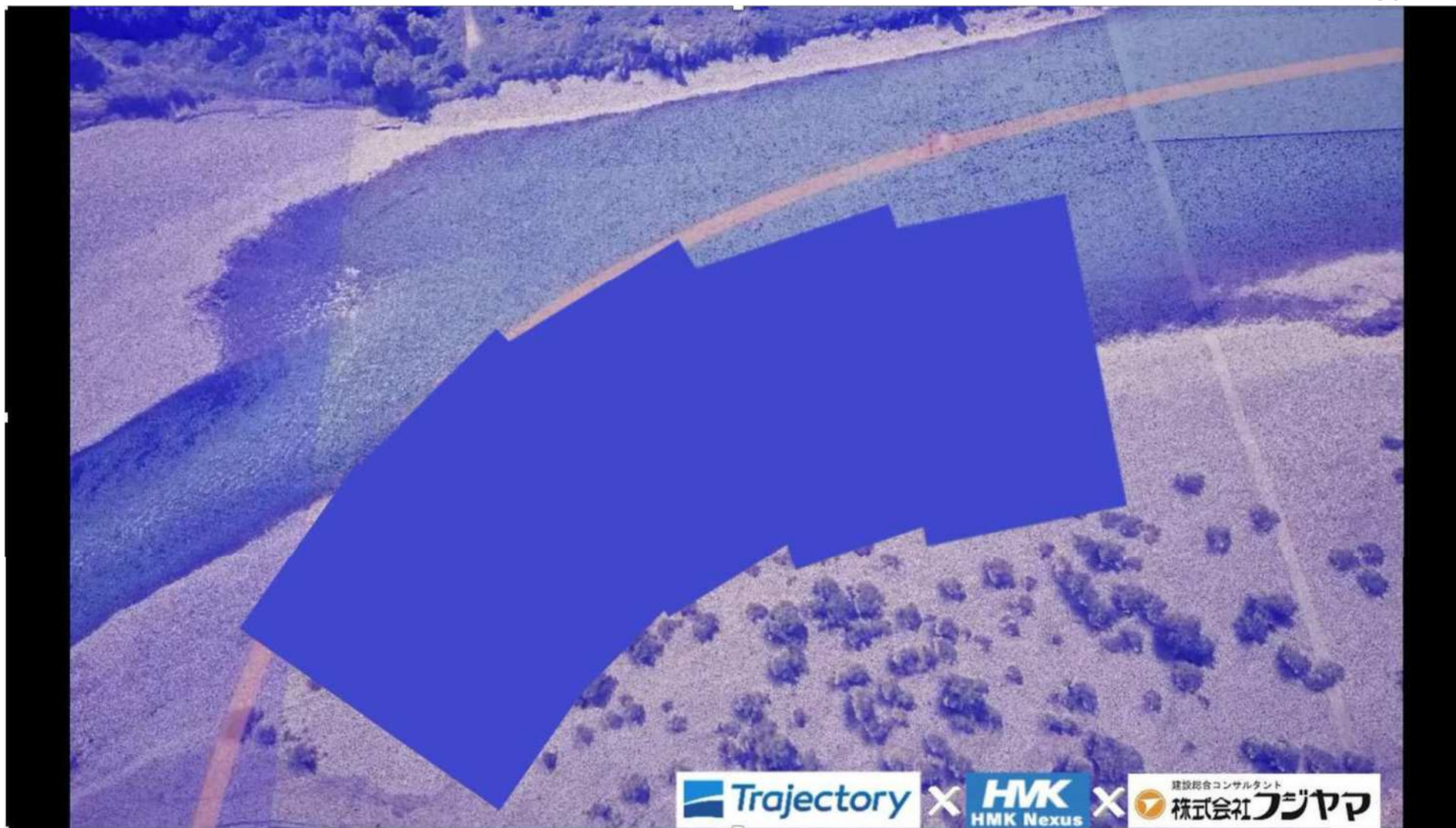
診療所で受け渡し／支払い（paypay等）



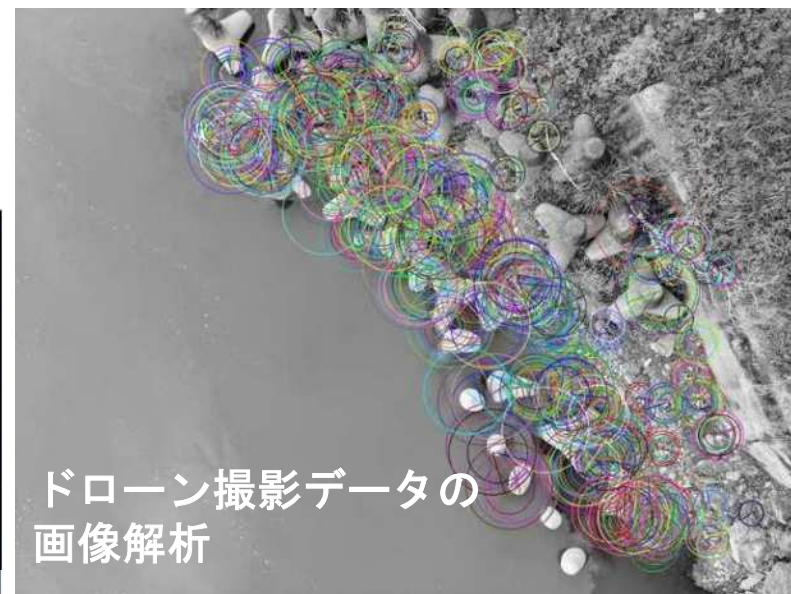
今までは処方薬が届くまでに2~3日掛かっていたところ、ドローン配送では約30分で手元に届き「便利になった」とコメントをいただいた。
浜松市様からも「これを機に更なる運用の最適化、未来の物流を作り上げたい」とコメントをいただいた。

デジタルライフライン全国総合整備計画におけるドローン物流マルチパーパスの重要性

Fujiyama group

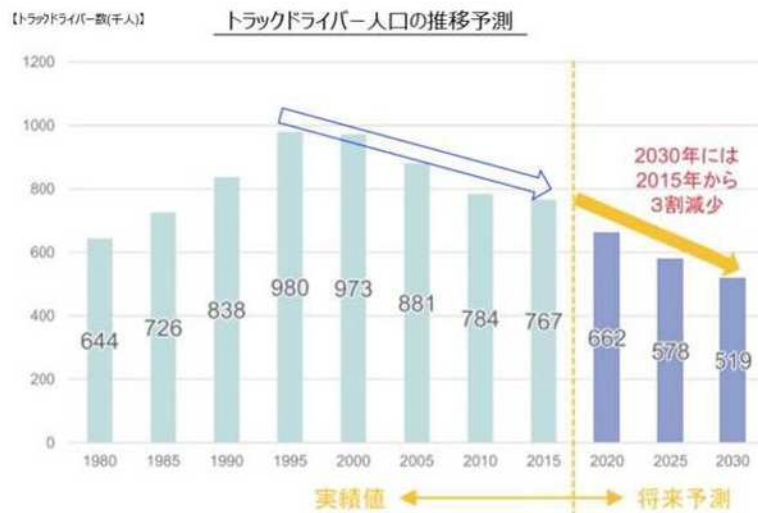






デジタルライフライン全国総合整備計画におけるドローン物流マルチパーパスの重要性

国内のトラックドライバー人口は1995年から一貫して減少傾向にあり、2015年から2030年までに3割減少すると予測されている。



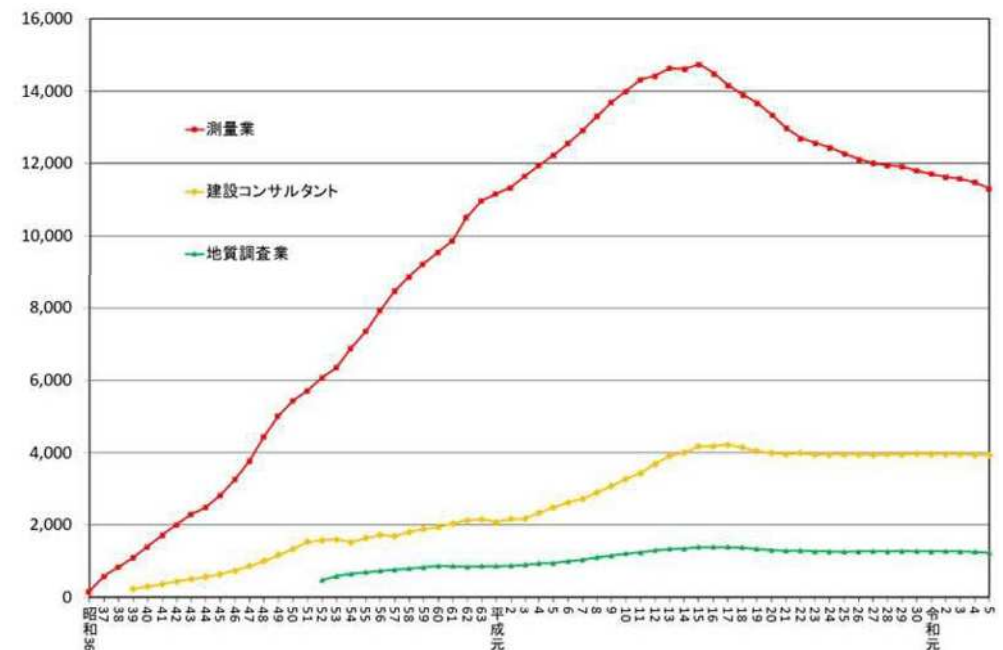
現状に対して有効な手が打たれなければ、2025年には国内トラックで運ばれる荷物の28.1%、2030年には34.1%が運ばなくなるという試算がなされている。



出典 経済産業省:「物流の2024年問題」等に対応した物流効率化推進に関する調査研究)

図1 登録業者数の推移

登録業者数



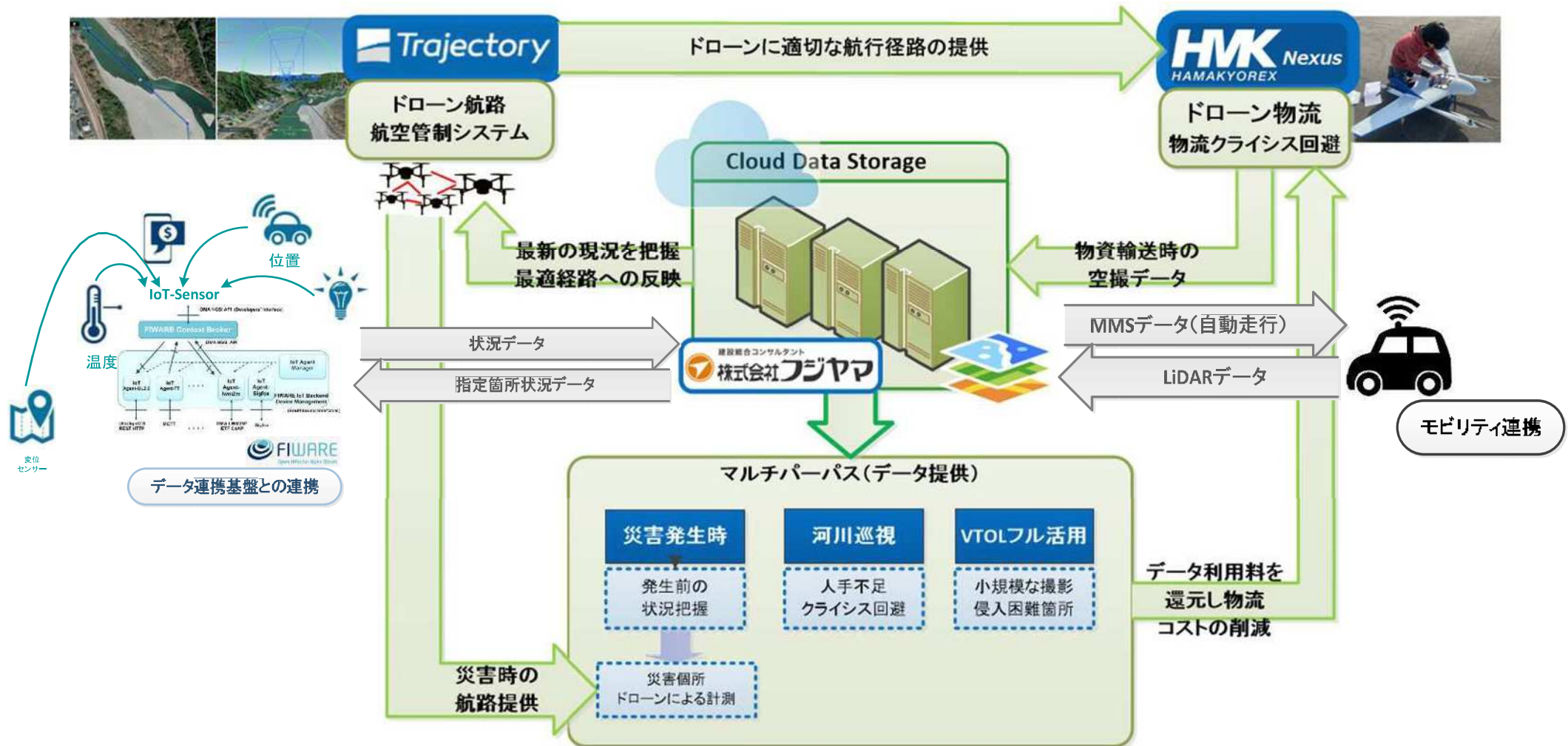
【測量業】
ピーク時点(14,750業者)と比較3,437業者減少(23%減)

【建設コンサルタント】
ピーク時点(4,214業者)と比較282業者減少(6.7%減)

出典 国土交通省:建設関連業者の登録状況 (令和6年3月31日) 現在

デジタルライフライン全国総合整備計画におけるドローン物流マルチパーパスの重要性

Fujiyama group



本事業の実施にあたり、多大なるご協力とご支援を賜りました
関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

浜松市様をはじめとする関係機関・企業・大学の皆様には
貴重なご意見やサポートをいただき、事業の推進に大きく貢献していただきました。

本プロジェクトに携わったチームメンバーの皆様にも、日々の努力と献身に深く感謝いたします。

皆様からいただいたご助言や知見を今後の取り組みに活かし、さらに発展させていく所存です。
引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

誠にありがとうございました。

事業実施企業一同



8 意見交換
